

令和5年度重点取組事業案

1 プラットフォーム事業「はちのへアート広場」

1. 目的

「はちのへ文化のまちづくりプラン」(令和4年3月策定)では、文化芸術活動の可能性や効果を大きく広げるため、多様な主体が自主的に参加でき、対等な立場でゆるやかに連携や協働ができる八戸ならではのプラットフォーム(※)づくりを目指すこととしています。

このプラットフォームを「はちのへアート広場」(仮称)と称し、文化芸術を取り巻く環境変化や、市内外の先進的・特徴的な取組事例などを学びあうことを通して、既存の取組のブラッシュアップや新たな取組について参加者が自ら考える機会とし、参加者相互の交流やネットワーキングから複数のスモールスタート事業を生み出し、持続可能で幅広い活動につなげていくことを目的として活動します。

※プラットフォームとは 異なる立場の者やグループを仲介し結びつける土台となる環境のこと

2. 参集対象者

幅広く市民全般を対象とする活動ですが、具体的には文化芸術活動者(個人・団体)、教育関係者、福祉関係者、高等教育機関(大学)、地元企業、市民活動団体(文化)、文化芸術活動に興味のある方、公立文化施設、市文化関係部署を想定しています。

3. 内容

プラットフォーム「はちのへアート広場」は、セミナー型の「ひろば交流会」と、スモールスタートから始める実践型の「ひろばプロジェクト」から構成されます。

初動は市が行い、将来的に官民連携による運営主体の組織化を目指すと共に、「ひろばプロジェクト」の実施について市の財政的な支援を検討します。

【令和4年度の主な取組】

◎キックオフミーティング開催(ひろば交流会初回版)

①開催日時 令和5年3月25日(土)午前10時～正午

②会場 八戸ポータルミュージアム シアター2

③開催内容

- ・「はちのへ文化のまちづくりプラン」と「はちのへアート広場」の概要説明
- ・パネリストによるトークセッション テーマ：地域に求められる文化芸術振興の取組
- ・参加者の交流

【令和5年度の主な取組】

◎ひろば交流会開催(年3回)

①開催時期 令和5年4月～12月 3回開催

②開催内容

- ・各回とも具体的テーマを設定し、基調講演、事例発表、ワークショップで構成します。
- ・テーマ案：求められる新たな活動支援/子どもや障がい者を対象とした文化芸術プロ

グラムやアーティストバンク／情報発信力の強化／伝統文化・芸能の継承
／求められる民間中間支援組織や専門人材／企業メセナ など

◎ひろばプロジェクトの実施支援

◎官民連携の運営主体の組織化（市は事務局機能を想定）

【令和6年度以降】

◎ひろば交流会開催（年1～3回）

◎ひろばプロジェクトの実施支援及び事業拡大支援

2. 文化施設の広報・情報発信業務

1. 目的

公共・民間の文化施設で行われる様々な文化プログラムや文化財の周知については、主催者それぞれが各種のメディアを通して情報発信していますが、プラン策定時のアンケート調査によると情報の浸透が不十分であることが見て取れました。

また、情報の入手手段が、一般（18歳以上）では新聞等の紙媒体が、若年層などではSNSなどが主な情報入手手段になっており、一般とそれ以外とで二極化していたことから、双方を対象とした複数の情報媒体によるわかりやすい情報発信を目的に取り組みます。

2. 内容

【はちのへ中心蔵ウエル】

年4回・季刊（2, 5, 7, 11月）、各回9万部発行（うち、市内7万3千戸（ほぼ全戸配布）に無料配付）されている、市中心街のランチ・ショッピング・グルメ情報等を掲載した情報誌に文化情報を掲載する。

①掲載回数 令和5年5月・11月（年2回）

②掲載内容 文化施設（公会堂・市公民館・南郷文化ホール・美術館・はっち・ブックセンター等）のイベント情報ほか

【web】

現在、各施設ごとに発信している情報を集約した、文化芸術に関する情報のポータルサイトを立ち上げ、リアルタイムで発信する。

①発信回数 随時

②広報媒体 市ホームページ、Twitter、FacebookなどのSNS

③掲載内容 施設イベント情報、アーカイブ記事など

3. 更上閣ガーデンレストランライアル事業

1. 目的

この事業は、更上閣（国登録有形文化財）、及び、更上閣にぎわい広場を市民に広く知ってもらい、日常的な利用促進につなげることを目的に、キッチンカーを活用した実証実験を実施し、課題等を探るために行います。

また、「はちのへ文化のまちづくりプラン」に掲載したユニークベニューの取組事例とし

